



12月定例会 12月1日～21日

第70回記念香川丸亀国際ハーフマラソンが2月7日に開かれます。IAAF認定のシルバーラベルレースとして、国内外から多くのランナーが丸亀を訪れます(写真は昨年のももの)。

主な内容

- | | | | |
|------------------|-----|------------------|-------|
| ● 議会報告会…………… | 2～3 | ● 討論…………… | 7 |
| ● 本会議のあらまし…………… | 4 | ● 委員会審査…………… | 8 |
| ● 平成27年中の議会活動 …… | 5 | ● 一般質問 …… | 9～13 |
| ● 意見書…………… | 5 | ● 議会の動き …… | 14 |
| ● 請願審査…………… | 5 | ● 審議した議案と結果…………… | 14～15 |
| ● 議案の内容…………… | 6 | ● 議会よもやま話 …… | 16 |
| ● 議案質疑…………… | 7 | ● 編集後記 …… | 16 |

平成27年

議会報告会を開催



議会報告会の概要

議会基本条例に基づく議会報告会を昨年11月9日に市民会館と綾歌総合文化会館で開催し、各会場それぞれ30名、計60名のご参加をいただきました。

今回で5回目となる議会報告会は、各常任委員会から定例会の報告と特別委員会の取り組みを報告し、その後、質疑応答と意見交換を行いました。

日ごろの議会の活動状況を知っていただくとともに、ご意見やご提言を議会として直接伺うことで、議会審議の活性化につなげてまいります。

報告会での主な質疑

Q 議員が率先して認知症サポートターになり、福祉施策を進める考えは。

A 事業所などに協力を求めて認知症対策を行っており、議員としても検討を進めたい。

Q コミュニティバスの便が少なく、利用しづらい。

A 要望は市に伝える。

Q 新庁舎建設で市民会館横の神社はどうなるのか。

A そのまま残ると聞いている。

Q 中方橋の復旧について。

A 市民生活に多大な不便を来しており、市としても国をはじめ関係機関に早期の復旧を強く要望していく。

Q 夜間や休日にも議会開会を。今後検討したい。また、今年度から本会議のインターネット中継や録画放送も行っているのをご覧いただきたい。

A 出席議員の名札を座席の前に置いていただきたい。

Q 次回から、そうしたい。

詳細は

丸亀市議会ホームページ
<http://www.city.marugame.lg.jp/>

丸亀市議会

検索



市民会館



綾歌総合文化会館

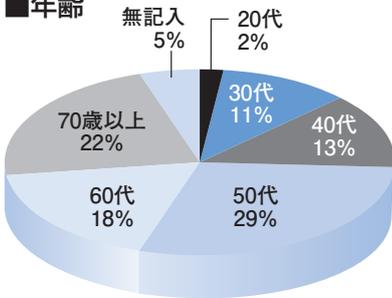


延べ8回、参加を呼び掛ける宣伝を行いました

各会場のアンケートから

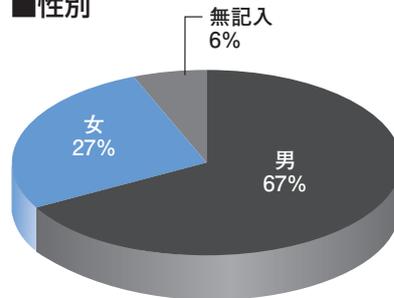
回答総数 45 (回収率：75%) 配布人数 60人 (平均30人/会場)

■年齢



20代	1
30代	5
40代	6
50代	13
60代	8
70歳以上	10
無記入	2

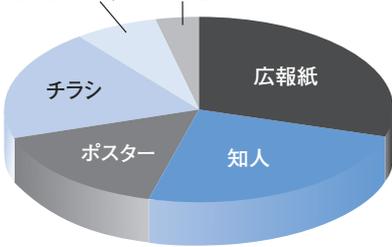
■性別



男	30
女	12
無記入	3

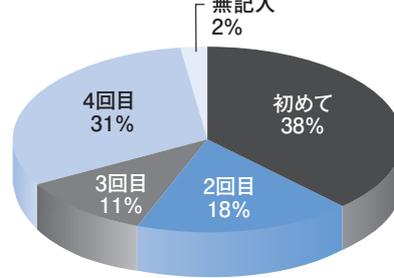
■議会報告会を知ったきっかけ

(複数回答)



広報紙	17
知人	14
ポスター	9
チラシ	11
ホームページ	4
無回答	2

■参加回数

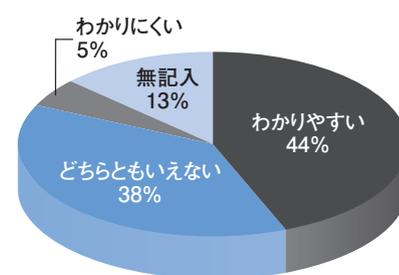


初めて	17
2回目	8
3回目	5
4回目	14
無記入	1

ありがとうございました

報告会やアンケートでいただいた意見や要望などは議会で精査し、必要なものは市長に伝えるなど、責任を持って対応いたします。

■内容の評価



わかりやすい	20
どちらともいえない	17
わかりにくい	2
無記入	6

アンケートの主な意見

- ・開かれた議会を目指す姿勢がうかがえる、よい取り組みだと思ふ
- ・内容が広範で十分把握できなかった。時間が不足するならば、内容を限定してはどうか
- ・プロジェクトを使用してはどうか
- ・視察について、何を見て、どう感じ、どう市政に反映したのか報告を
- ・市の会計に企業会計を導入してもらいたい
- ・中方橋の件について議会でも議論を進めていただきたい
- ・報告会の班を細かくして、すべての議員が発言するようにすればよい
- ・直接意見を言えるよい機会。今後も回数を増やすなど、便利になるよう期待する
- ・議題でない内容や厳しい質問にもスムーズな回答ができていた
- ・資料の文字を大きく
- ・コミュニティバスで病院に行っても帰りに利用できずタクシーを利用している。運行便数を増やしてほしい

12月定例会

一般会計補正予算など

原案のとおり可決

本会議の あらまし

12月定例会は12月1日から21日まで、21日間の会期で開かれました。

初日にまず、請願第5号と第6号を総務委員会に付託し、続いて議案第83号から第113号



年末の挨拶を行う高木議長

までを一括議題とし、市長から提案理由の説明がありました。

3日は、議案第83号から第113号までについて2名が質疑を行った後、所管の常任委員会に付託しました。

4日、7、9日は、市政全般について16名が一般質問に立ちました。

常任委員会は10日に都市経済と生活環境、11日に教育民生と総務委員会が開かれ、所管事項について議案と請願を審査しました。

21日の最終日は、各常任委員会に付託していた議案と請願の審査結果について各委員長から報告があり、議案はすべて原案承認、請願は不採択でした。

1名から議案に対する反対討論、2名から請願の採択を求める討論、2名から請願の不採択を求める討論があったことに伴い、同議案と請願を起立により

採決し、賛成多数で議案を原案のとおり可決、請願を不採択としました。また、残りの議案は全会一致で可決しました。

その後、諮問第3号「人権擁護委員候補者の推薦」について原案を同意し、意見書1件を可決し、関係機関に送付することを議決しました。

最後に、議員派遣第5号について可決後、今期定例会を閉会しました。

人事案件

今期定例会に提案された人事案件は次のとおり（敬称略）。

▼人権擁護委員

飯山町東坂元	常井美代子
飯山町川原	濟城加代子
飯野町東二	清水 彰一

議会に関する意見・感想を募集します。

【連絡先】

丸亀市議会事務局
TEL 24-8828
丸亀市大手町2-3-1



メールアドレス
gikai@city.marugame.lg.jp

本会議インターネット中継!

市議会本会議の生中継と録画配信をしています。
中継ケーブルテレビの放送もハイビジョン化!
さらに見やすく、いつでも見られる市議会を目指します。

市ホームページ [●丸亀市議会](#) → [インターネット中継\(外部リンク\)](#)



平成27年中の議会活動状況

本会議運営状況				委員会等開催状況				
区分		定例会	臨時会	合計	区分		委員会	協議会等
招集回数		4	1	5回	常任委員会	総務委員会	4	4
会期延日数		108	1	109日		教育民生委員会	4	4
本会議日数		28	1	29日		都市経済委員会	4	9
						生活環境委員会	3	2
議案議決内容	議案可決	111	2	113件	特別委員会	議会改革特別委員会	11	
	原案否決	0	0	0件		市庁舎整備等特別委員会	9	
	専決承認	1	2	3件		予算決算特別委員会	6	
	認定その他	8	1	9件				
	計	120	5	125件				
選挙・選任		0	3	3件	その他	全員協議会	17	
請願		6	0	6件		議会運営委員会	23	
陳情		0	0	0件		各派会長会	13	
決議・意見書		1	0	1件		広報広聴委員会	13	

活動状況・意見書・請願

ヘイトスピーチ対策に関する意見書を可決

政府・国会に提出

近年、国内では特定の国籍の外国人や人種、民族を排斥する差別言動、いわゆるヘイトスピーチが行われており、大きな社会問題となっている。最高裁判所は、特定の国籍・民族の外国人に対する言動に関係する裁判で、違法性を認める判決を行った。また国連は、日本政府に対し自由権規約人権委員会からヘイトスピーチの禁止などの

措置をとるべきとの勧告を行い、同じく人種差別撤廃委員会からも法による規制を含めたヘイトスピーチの適切な対処に取り組むよう強く求めている。よって、国においては、表現の自由を配慮しながらもヘイトスピーチを根絶するため、法整備を行うなどの特段の措置を講じられるよう強く要望する。

請願審査結果

TPP交渉「大筋合意」は撤回し、調印・批准しないことを政府に求める意見書採択のための請願書

農民運動香川県連合会
会長 大塚 久



安全保障関連2法(国際平和支援法、平和安全法制整備

法の廃止を求める国への意見書提出に関する請願

丸亀革新懇
世話人代表 佐々原義幸
丸亀地区労働組合協議会
議長 大西 浩



● 討論

採択を求める討論
横川 重行 尾崎淳一郎
採択しないことを求める討論
山本 直久 大前 誠治

議案の内容

議案の内容

60万円を措置し、予算総額を1億2160万円とするもの

▼議案第86号 介護保険特別会計補正予算(第3号)

▼議案第83号 一般会計補正予算(第3号)
歳入歳出それぞれ4億6253万3000円追加し、予算総額を428億7512万2000円とするもの。主な内容は、

地域包括ケアを推進するためのクラウドシステム導入業務委託料1510万円、育児用品貸出事業費225万円、歴史的・文化的な観光地への来訪者に文化

観光資源の復元映像を提供するアプリケーションの制作等にかかる経費8000万円。寄附金として地域福祉基金積立金に72

万8000円を計上。台風11号による災害復旧費として補助金を追加措置するものなど

▼議案第84号 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

国民健康保険診療所特別会計へ60万円繰り出し、予算総額を163億860万円とするもの

▼議案第85号 国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)

共済費の標準報酬月額制への移行に伴い一般職員の共済費に

60万円を措置し、予算総額を1億2160万円とするもの

例を制定するもの

▼議案第91号 市税条例の一部改正

人事異動などに伴い職員給与、手当共済費として995万円を措置し、予算総額を84億1682万6000円とするもの

▼議案第87号 市議会議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正

被用者年金制度を一元化するための法改正に伴い、所要の改正を行うもの

▼議案第88号 市職員の退職手当に関する条例の一部改正

被用者年金制度を一元化するための法改正と行政不服審査法の改正に伴い、所要の改正を行うもの

▼議案第89号 行政組織条例等の一部改正

平成28年4月に予定する機構改革に伴い、所要の改正を行うもの

▼議案第90号 個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定

法律に基づき、個人番号の利用と特定個人情報の提供に関して必要な事項を定めるため、条

例を制定するもの

▼議案第92号 消防団員等公務災害補償条例の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い、税の徴収と換価の猶予規定の追加や、住宅ローン減税期間の延長、市たばこ税の特例税率を廃止するほか、マイナンバー法の施行に伴い、市税申告事項に個人番号と法人番号を追加するもの

▼議案第93号 放課後留守家庭児童会条例の一部改正

児童会を利用できる人の範囲の拡充と一部の児童会で施設を整備し6教室増設するため、所要の改正を行うもの

▼議案第94号 指定管理者の指定(各コミュニティセンターほか1施設、生涯学習センターほか1施設、手島自然教育センター、市民体育館ほか11施設、市民会館)

平成28年4月から指定管理者にそれぞれの施設の管理を行わ

せるため、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき、議会の議決を求めるもの

▼議案第112号 総合整備計画の策定(本島町辺地)

本島町辺地を整備するため、財政上の特別措置等に関する法律第3条第1項の規定に基づき、議会の議決を求めるもの

▼議案第113号 町の区域の変更

地籍調査に伴い境界を地形上明確なものとするため、塩屋町の一部と天満町の一部を変更することにについて、議会の議決を求めるもの

▼諮問第3号 人権擁護委員候補者の推薦

委員の任期満了に伴い、常井美代子氏ら3氏を推薦するに当たり、議会の意見を求めるもの

▼意見書案第1号 ヘイトスピーチ対策に関する意見書

ヘイトスピーチを根絶するために、国等に対し法整備等の措置を講じるよう強く求める意見書の議決を求めるもの

▼議員派遣第5号 議員派遣について

議員派遣について、議決を得るもの

質疑

質問者・項目

太字の項目は要約文を掲載

加藤 正員

①一般会計補正予算（地方創生先行型上乗せ交付）②行政組織条例の一部改正③個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定

中谷真裕美

一般会計補正予算（塵芥処理費、し尿処理費、ごみ収集運搬業務委託、各コミュニティセンター指定管理料）、各コミュニティセンターの指定管理者の指定

マイナンバー制度 不安に対する方策は

◎加藤議員 国の見通しの甘さもあり、マイナンバー制度について市民の不安が高まっている。そこへ市としてマイナンバーの独自利用を定める条例が提案されたが、市民の不安を取り除く取り組みが求められる。通

知カードの遅配、情報流出の不安、成り済ましなど、どのような方策を取るのか。

▲総務部長 本市住民登録者への初回発送は11月末までに完了したとのことである。受け取られず市民課へ返戻されたカードは平成28年3月末まで市民課で保管しているので、ご確認いただき、受け取りに来ていただきたい。情報流出については、システムにアクセスできる職員の制限、不正アクセスが不可能な専用回線の使用、外部へのデータ持ち出しができないシステムなど、様々な対策を講じている。成り済ましについては、個人番号のみでの本人確認は認めず、通知カードと正しい持ち主であることを確認できる証明書類での身元確認が必要であり、厳格な本人確認を行うこととなっている。これらの不安や疑問に、地方自治体として可能な限り答えるべく、国、県とも協力して周知広報に努めたい。

ごみ収集

なぜ時間外対応か

◎中谷議員 塵芥処理費とし尿

処理費の時間外勤務手当が当初予算の6割増となる計900万円増額補正されているが、なぜこれだけの増額が必要となったのか。

また、島しょ部の追加ごみ収集を平日ではなく休日に行った理由と、なぜ当初予算で計上できなかったのか。また、来年度以降も時間外勤務で島しょ部のごみ収集を続けるのか。

▲生活環境部長 本年度途中から本島、広島での夏季の可燃ごみの収集を週1回から2回に拡充できたための増額である。島しょ部は通常水曜日に可燃ごみの収集をしているため、2回目の収集を平日に行うことが難しかったことから、時間外勤務で休日に収集したものである。

陸地部は週2回の可燃ごみ収集ができていたが、島しょ部は週1回しか収集できていなかったものを少しでも改善しようとしたものであり、週2回、平日に収集する体制を整えたいが、早急には難しい。

本島と広島は夏季2回ごみ収集は今後も継続したいので、新年度は当初予算に手当も含めて計上したい。

討論

議案に賛成×反対の意見を表明します。



《反対討論》尾崎淳一郎

①議案第83号 一般会計補正予算（ごみ収集運搬業務委託、し尿収集運搬業務委託）

②議案第90号 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定

③議案第91号 市税条例の一部改正

理由 ①本市のごみ収集業務の民間委託導入は、行政スリム化とコスト削減を目的としてきた。確かに職員数は減ったが、一方で、委託料は10年増え続けている。導入前と現在の人件費と委託料の合計額を比較すると、ほとんど変わらない。民間委託の検証が必要であり、ごみやし尿収集は、市の直営が望ましいと考えるため反対する。

②③マイナンバー制度の持つ根本的な矛盾、個人のプライバシーを侵害する危険性が高く、準備不足であるなど、多くの問題があるため賛成できない。

委員会審査

一般会計補正予算など

各委員会で原案承認

本会議で各常任委員会に付託された議案と請願は、10日に都市経済と生活環境、11日に教育民生と総務委員会が開かれ、市長や副市長、担当部長などが出席し、審査を行いました。
主な質疑は次のとおりです。

都市経済委員会

主な質疑

- 今回の農業関係補正予算はT P P対策と関連があるか
- 多面的機能支払交付金事業でどのようなことをするのか
- 果樹産地総合事業補助金は、専業・兼業関係なくすべての桃農家が対象なのか
- 質疑の後、討論はなく、委員会に付託された案件はすべて原案のとおり承認しました。

生活環境委員会

主な質疑

- 北消防署新訓練塔兼資機材保管庫整備事業は、どのような施設を想定しているのか
- 全体構想を策定し、土地利用計画を示した上で予算執行すべきではないか
- 休日のごみ収集時間外勤務手当は、来年度も続くのか
- 体育施設の指定管理者の評価結果で一部低い評価点が見られるが、今後どのように改善を求めていくのか

委員会審査

質疑の後、討論はなく、委員会に付託された案件はすべて原案のとおり承認しました。

教育民生委員会

主な質疑

- 子育て応援育児用品貸出事業について、事業を拡大していく考えは
- 子育て応援育児用品の貸出し手続きが簡単になるよう検討しているか
- 丸亀城他復元アプリケーション制作事業について、他の史跡にも展開していく考えは
- 中央図書館の空調設備について、なぜ今まで改修してこなかったのか
- 青い鳥教室の支援員の配置予定はどのようなになっているか
- 医療介護連携クラウドシステム導入によってどのような効果が見込まれるか
- 生活保護費補正に関連して、生活扶助や住宅扶助など他の扶

総務委員会

主な質疑

- 機構改革で、以前の部に戻すだけなのか
- 人件費や残業代などは、どの費目から支出するのか
- 部の編成の基本的な考え方は
- 議案第90号を制定することで、市民にとって何が変わるのか
- 議案第91号で徴収猶予が規定されているが、これまでも猶予など個別に対応していたのではないか
- 質疑の後、議案第90号、第91号について、番号法に不安があるので反対するとの討論があり、挙手採決の結果、委員会に付託された議案はすべて承認しました。
- また、請願第5号、第6号には、採択と不採択の討論があり、挙手採決の結果、請願2件を不採択としました。

一般質問

質問者・項目

太字の項目は本文中に要約文を掲載

真鍋 順穂

- ①地球温暖化問題と本市の取り組み②クリントピア丸亀の施設更新③TPP対策本部の設置④飯山総合運動公園の施設管理

藤田 伸一

- ①子育て支援充実の取り組み②学校徴収金の公会計化③性的少数者の人権を尊重する取り組み

小橋 清信

- ①交通政策基本法をまちづくりにどう反映させるか②商店街への新たな集客とにぎわい創出③丸亀市職員提案制度④中津万象園御茶所母屋の保存継承

三谷 節三

- ①合併協定書関連②被災時の飲料水対策③ふるさと納税制度関連

水本 徹雄

- ①西日などによる信号機の疑似点灯現象への対策②本広監

督が持つ映画の力で丸亀創生の一助に

- ③クラウドファンディング事業の取り組み④うちわの港ミュージアムを「まちの駅」に⑤「日本三大うちわ」による連携で丸亀創生を⑥市内公共施設のあり方

三木 まり

- ①丸亀市健康増進計画「健やかまるがめ21」②子供たちや若者たちの貧困問題

尾崎淳一郎

- ①ごみ行政②教育行政

福部 正人

- ①WiFiスポットの設置拡大②介護支援ボランティア制度の活用など③自殺対策④高齢者の就労環境の整備⑤丸亀駅前の活性化に向けた取り組み⑥近現代における偉人・賢人の顕彰と市政への活用

佐野 大輔

- ①猪熊弦一郎現代美術館・図書館の長寿命化計画②リノベーションまちづくり

加藤 正員

- ①「地方創生」と「未来を築く総合戦略」②地域担当職員制度③防災士

片山 圭之

- ①地方創生②教育問題

松浦 正武

- ①子供の運動能力の向上策

横川 重行

- ①幼少期からの食育・健康指導②いじめ問題

中谷真裕美

- ①障がい者福祉制度の改善②水道広域化の諸問題

内田 俊英

- ①次年度予算編成方針②重要業績評価指標（KPI）達成への提言

神田 泰孝

- ①丸亀スポーツロード（仮称）設置の考え②リボン運動の周知③市民の健康寿命を延ばす取り組み

議会だよりは、議員の質問の中から1項目を選び、質問・答弁の内容を要約のうえ掲載しています。

TPP

市対策本部設置を

真鍋議員 TPPは、本市農林水産業や商工業、市民生活に多大な影響を及ぼすこととなる。事業者や市民にとってマイナスをプラスに、プラスをさらに増幅させるためにTPP対策本部を設置する考えは。

市長 政府はTPP総合対策本部を設置し、総合的なTPP関連政策大綱を制定し、今後の方向性を示したところである。また、県も対策本部を設置し、地域経済への影響や効果の精査を進めている。

国や県のこれらの動向を踏まえ、本市も後手に回ることのないよう、年度内に全庁的なTPP対策本部の設置を検討する。



丸亀特産の桃

国は、国民生活に与える影響を明らかにし、不安や懸念を払拭するため、丁寧な情報提供と万全の対策を講じることとなっていることから、本市も関係機関と連携を密にし、市民への対応を図りたい。

市の証明書など 性別記載削除を

Q 藤田議員 心と体の性が一致しない性同一性障害の当事者に配慮するなどの理由で、性別欄のない印鑑登録証明書や住民票などを発行する自治体が全国で183に上っている。丸亀市も同様の観点から、申請書や市が発行する証明書などを精査し、様式を改めるべきと考えるが、市の考えは。

A 総務部長 本市も当事者の人権に配慮するうえで、市の主体的判断のもとに決定でき、かつ事務処理に著しく支障を来さないものについて、本人に記載をお願いする公的書類や市が発行する証明書などで、性別の記載を不要とすべきであると考えている。

そこで、まず現状を把握すべく、全庁的な洗い出し作業を行

い、可能な限り削除する方向で庁内周知するとともに、関係法令の精査と一連の作業とあわせて、順次取り組む。

イベントの集約で 大きなぎわいを

Q 小橋議員 丸亀駅周辺の商店街では、数年前から若者の発想を生かしたにぎわいづくりの催しが行われているが、大きな盛り上がりまでには至っていないと感じる。数多く行われているにぎわい事業やイベントを集約して、大きなにぎわいづくりにつなげられないか。

A 産業文化部長 最近では、市民を中心とした有志がさまざまなイベントを行い、にぎわいづくりに取り組んでいる。こうした



イベントでにぎわう商店街

イベントの情報を各種団体が共有し、一つのイベントとして周知、展開することができれば、より一層の集客が得られると考えられる。

今後は市が主体となつて、定期的に各種団体などの情報共有と意見交換の場を設け、各種団体が連携してより大きな盛り上がりを見せられるよう調整役を務め、より効果的なにぎわいづくり事業を実施したい。

市庁舎の建設地 合併時の協定は

Q 三谷議員 新丸亀市の基本となる合併協定書では、庁舎の建て替えは国道11号の南で候補地を選ぶとされているが、それに沿わない方向で建て替えの審議が行われている。協定書との相違について市はどのように考え、住民の理解を得ていくのか。

A 総務部長 新市庁舎の建設場所は、合併協定書の内容を考慮し、国道11号の南を含む複数の候補地の中から、市民の利便性や財政状況などの総合的な観点から最適な場所を選定することとした。アンケートによる市民

意識調査や審議会、市庁舎整備等特別委員会の意見を踏まえ、大手町地区を建設地とすることを市の方針とした。協定書の内容とは違った結果となったが、8月に市内4会場で説明会を行い、その際のアンケートでは9割近い人から賛成の回答をいただいた。今後も市民の理解を得られるよう努めたい。

映画の力を 丸亀創生の一助に

Q 水本議員 映画「UDON」や踊る大捜査線などで知られる、本市出身の映画監督で文化観光大使の本広克行氏の講演会や同氏作品の展示会を企画し、映画というジャンルを生かして丸亀創生の一助となる取り組みを行うてはどうか。

A 産業文化部長 映画という切り口で地方創生を図っていくことは、地域活性化施策の一つとして有効だと考える。平成28年は本広監督がディレクターを務めるさぬき映画祭10周年という節目の年であることから、この機会を逃さず、本広監督を中心に本市ゆかりの映画やドラマを

紹介する企画の本市開催について、県の映画祭実行委員会に働きかけたい。

また、本広監督に本市シティプロモーションフィルムの監督をしていただけないか相談するなど、地方創生の一貫としての取り組みを進めたい。

子供や若者支援 基金設置で

Q 三木議員 子供たちや若者たちへの教育支援を中心とした基金、(仮称)安心学び育ち基金を創設する考えは。

A 市長公室長 新しい時代を支えていく子供たちが自分たちの未来を切り開いていけるようにするためには、安心して生活できるといことが何よりも必要だが、わが国の子供の貧困状況は先進国の中でも大変厳しい状況にあり、本市でも重要な問題であると認識している。経済的な理由によって子供たちの将来が閉ざされることがないように、また人口減少社会の中で本市が持続的に発展していくためにも、子供や若者が安心して生活を送り、夢がかなうまちづく

りをしていく必要がある。議員提案の基金は、厳しい財政状況の中で今すぐ設置することは難しいが、子供の貧困対策として検討していく課題と考えている。

自由校区 制度見直しを

Q 尾崎議員 城南小学校区では、中学校への就学は南中か西中を選択する自由校区となっているが、ほとんどの児童が西中へ入学しているため教室不足が心配される。自由校区の制度を見直す必要があるのでは。

A 教育部長 平成13年頃から西中の生徒が減少する一方で南中の生徒は約900人で推移し、生徒数の差は最大400人になった。そこで平成19年から城南小学校区では就学する中学校について南中、西中を選択する選択区域とし、学校規模の適正化を図った。現在では南中の大規模校化も幾分か解消され、西中と南中の生徒数の差は縮まった。選択区域の導入は両校の規模の適正化に寄与したと考えられる。今後は少子化による生徒数

の減少が予想されるので、生徒数の推移や教室の過不足の状況などを見ながら選択区域の見直しを検討したい。

観光地や防災拠点に WiFiスポット設置を

Q 福部議員 無料で高速インターネット通信ができるWiFi-Fi (ワイファイ) スポットが市庁舎に設置されているが、設置箇所を観光地や防災拠点に拡大することで観光客の利便性向上や災害時の通信確保を図ることができると考える。設置箇所拡大について市の考えは。

A 産業文化部長 観光地へのWiFi-Fiスポット設置は新たな誘客や観光資源発掘につながるので拡充していくべきと考えるが、本市単独での設置には多額の費用がかかるため、比較的安価で設置できる県主導によるかがWiFi-Fiを活用し、観光施設を中心に設置拡充に努めたい。

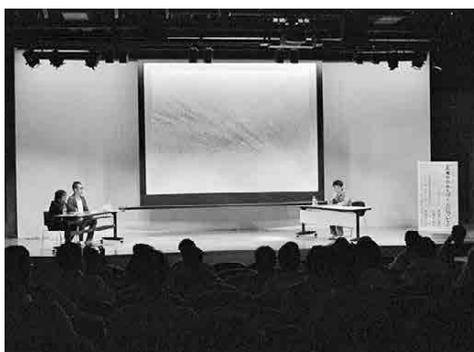
また、防災拠点への設置には、設備工費が膨らむなど、費用負担の増加が課題であるため、それぞれの防災拠点の状況

などを精査し、施設管理者や関係機関と引き続き協議したい。

リノベーションによる まちづくりを

Q 佐野議員 空き家や空き店舗を改修、活用するリノベーションをまちづくりに導入する考えはあるか。また、本市では若手職員のチームがリノベーションの講演会を開催するなど積極的に活動している。若手職員が活動を続けられる組織づくりを考えてみてはどうか。

A 市長 まちづくりにリノベーションを導入するには、空き家などの所有者と借り手が事業として成り立つ仕組みづくりを導入する必要がある。市としては



まちづくりシンポジウム

民間主導の計画が実現するよう
に、空き家などの情報提供や担
い手育成など必要なサポート、
既存の空き店舗などを実際に活
用する事業提案が示されるリノ
ベーションスクールの開催も検
討し、民間の事業が進むようサ
ポートしたい。市の若手職員は
部局を超えて積極的に活動して
いるので、縦割りにならず活躍
できるように組織や仕組みがで
きるようにしたい。

地域防災力 防災士育成で

☑ 加藤議員 災害では救助まで
の時間が生存率を左右するた
め、地域防災力が重要となる。
担い手となる防災士確保のため
の支援策の充実にについて伺う。

▲ 市長公室長 南海トラフを震
源とする震災が今後30年以内に
起こる確率が70%程度とされる
現在、従前より防災士育成のた
め資格取得に必要な経費の一部
を助成してきた。しかし、助成
開始から4年目の現在、地域間
での人員のばらつき、また自主
防災活動に十分な人員を確保で
きていない状況から、防災士の

増員が図れるよう人員不足のコ
ミュニティに対し、事業の周
知、啓発とともに、今後は支援
策の拡充も考える。

なお、助成は地域防災力の向
上を目的とし、防災士資格取得
後は地域の自主防災組織での活
動が前提であることから、対象
者は、コミュニティから推薦さ
れた人に限定している。

沿岸部再開発に 道の駅は

☑ 片山議員 観光の目的地のひ
とつとして、また、日々の買い
物など地元住民のほか地域外か
らの誘客などが期待でき、いわ
ゆる参加型施設として道の駅が
全国的に注目されている。さら
に、地方都市では中心市街地の
空洞化に伴う買い物難民対策で
も、道の駅は全国的に評価され
ている。この際、市として民間
事業者と協力し、地方の問題を
解決するという観点から、いわ
ゆるウォーターフロントビジョ
ンの目玉として道の駅を誘致し
てはどうか。

▲ 市長 ウォーターフロントは、
市のまちづくりや歴史を考えて

も、重要な地区であると認識し
ている。また道の駅は現在本市
にはないため、民間事業者から
提案されやすい土壌作りが重要
であると考ええる。
そういった中で現在進めてい
る立地適正化計画で、夢のある
形のある構想を検討したい。



ウォーターフロントエリア

小学生の体力向上 専門教員の配置で

☑ 松浦議員 ある調査によると、
小学生が、できなかった運動が
できるようになったきっかけ
は、授業中に先生にコツやポイ
ントを教えてもらったり、先生
や友達の間をまねをしたという回答
が多いということである。つま
り、これからはますます先生の

指導力、役割が重要となるの
で、小学校でも体育専門の先生
を配置することを考えてみては
どうか。

▲ 教育長 現在小学校はクラス
担任制であるが、中一ギャップ
解消のため、本市では小中一貫
教育の中で、中学校の体育の先
生が校区内の小学校に向いて
指導している学校群もある。

こういった状況の中で、専門
的な教科に関しては、専門の先
生が5年生、6年生を指導する
こともこれから展望として持つ
ことは可能なので、そういった
方法も取り入れていけるよう検
討したい。

いじめ発生 学校ではどう対応

☑ 横川議員 学校でいじめがあ
った場合、発生から収束するま
での間、先生やスクールカウ
ンセラーなどどのように対応し
ているのか。

▲ 教育長 いじめが発生した場
合、当該学校にいじめ防止の対
策組織を作り、その中で子供た
ちへの指導方針や先生の役割分
担を協議し、構成員のスクール

カウンセラーからも必要に応じた指導をいただく。対策組織で協議、決定した内容は全先生が共有し、関係する子供たちを全員で見守る体制をとり、具体的な指導や支援を役割に従い必ず複数の先生で行う。一方で、指導、支援の内容や結果は、いじめの再発防止のためにも保護者に伝え、家庭での見守りや指導などの協力をお願いする。また教育委員会は、学校からいじめが発生したとの報告を受ければ、迅速、適切に対応できるような体制を整えている。

水道広域化

自己水源の確保も

◎中谷議員 水道の災害対策にはリスク分散、水源の多様化が鉄則である。渇水対策として、これまで開発した水源を維持し、足りない部分を遠い水源に求めるのが水の利活用の基本であり、市民を守る一番の体制だと思うが、本市の自己水源をどう考えるか。

▲建設水道部長 香川県広域水道事業体設立準備協議会で示された広域水道施設整備計画によ

ると、平成6年、平成20年の大渇水と同程度以上の渇水が起こった場合でも県内で必要な水量は確保できることから、経営効率を考慮すると小規模な自己水源は廃止する方向にならざるを得ないと考える。

しかしながら、水質が良好なもの、今後幹事会などの場で、予備水源としての活用が検討予定であるため、本市を含む県内の自己水源の取り扱いも決定されると考えている。



県広域水道事業体設立準備協議会

KPI目標

市民との共有が鍵

◎内田議員 平成27年10月に策定された重要業績評価指標（KPI）がつけられた「丸亀市人

口ビジョン・丸亀市未来を築く総合戦略」には、既存の諸計画との整合性をとった、意欲的な数値が並んでいる。目標達成のための具体策として、この目標を市民とどう共有するのか。

▲市長 今総合戦略は、策定と同時に公表し、閲覧が可能であるが、閲覧数も少なく、このままでは総合戦略の中身やKPIを市民と共有することは難しいと考える。このため、市民の皆様が手にとっていただけるよう、具体的にどうしたいのかがイメージでき、人口減少によってどうなるかなど、誰もがわかりやすく興味を引きやすい内容での概要版を作成し、全戸配布したい。今後は地方創生の実現のため、情報周知のみならず行動まで結びつく事業の推進方法を構築したい。

スポーツロードで

にぎわい創出

◎神田議員 市民球場が完成し、県立丸亀競技場を含む2施設を有する市総合運動公園は、スポーツ観光など今後のにぎわい創出に重要である。来る東京

五輪に向け、にぎわい創出として丸亀スポーツロードを設置する考えは。

▲市長 スポーツロードの設置は、地域密着型プロスポーツを活用したにぎわいづくりの観点から大変意義深いですが、実現には特定のチームにとどまらないスポーツ全体の啓発や本市固有の資源を生かした仕掛けの必要性など、多くの課題があり、具体的なビジョンも定まっていないことから、現状では今後の検討課題としたい。

当面は、四国コカ・コーラボトリングスタジアム丸亀など総合運動公園内などで地域密着型プロスポーツを中心とした応援気運の醸成と骨付き鳥や丸亀城など、観光資源の情報発信につながる取り組みを進めたい。

ご案内

次回の定例会は
2月下旬に開会
予定です。

平成27年12月定例会 審議した議案とその結果

議案番号	議案第83号	議案第84号	議案第85号	議案第86号	議案第87号	議案第88号	議案第89号	議案第90号	議案第91号	議案第92号	議案第93号	議案第94号	議案第95号	議案第96号	議案第97号	議案第98号	議案第99号	議案100号	議案101号	議案102号	
審議結果	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	
議員名																					
1 川田 匡文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2 真鍋 順穂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3 松永 恭二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5 水本 徹雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6 佐野 大輔	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7 神田 泰孝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8 多田 光廣	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9 小橋 清信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10 山本 直久	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11 岡田 剛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12 大前 誠治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13 三宅 真弓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
14 中谷真裕美	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15 尾崎淳一郎	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
16 加藤 正員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17 藤田 伸二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
18 小野 健一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
19 高木 新仁	議長のため採決に参加せず																				
20 三谷 節三	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
21 福部 正人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
22 内田 俊英	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
23 国方 功夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
24 片山 圭之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
25 松浦 正武	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
26 横川 重行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
27 三木 まり	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○：賛成、●：反対 ーは除斥または欠席した者です。



11月16日

ボートレースチケットショップ西予を視察

3つ目となる場外発売場



ボートレースまるがめの場外舟券発売場が愛媛県西予市に平成27年10月26日オープンしました。全国的に各ボートレース場が多様な形態のボートピアを設置し、売り上げ増強を図る中、丸亀ではボートピア丸亀(S61)、朝倉(H5)に続く3つ目の場外発売場をオープンさせ、売り上げの確保に努めています。

サテライト西予と併設



もともとサテライト西予という松山競輪の場外車券発売場として営業していた同施設。施設の一部を改修してボートレースチケットショップ西予(以下、BTS西予)を併設し、両施設が独立しながらも、競い合うように営業してしました。BTS西予がオープンしたことで、両施設の合計売り上げも伸びているとのこと。

西予市を表敬訪問



西予市とも今後協力体制を築いていかなければならないということで西予市議会を表敬訪問しました。藤井議長、兵頭副議長から西予市の概要などを伺い、今後も連携していくことを確認。西予市とは高速道路を使つて2時間少々距離ですが、西予市の地域活性化に取り組む姿勢に学び、互いに高めあうこともできるのではと、これからの可能性を感じました。

編集
後記

毎年、夏休みに市内の小中学校の代表が、市長や教育長と議会形式でやり取りを行う「ミニ議会」が開かれます。今年度も傍聴者がいっぱい立ち見も出るほどでした。

今から47年前に「市長と話し合う会」でスタートしたイベント。今年度も代表の皆さんはズバツと切り口鋭い質問をされていました。

実は私も今から約20年前に参加させていただき、実家で手渡されたビデオには現在と同じ議場が映っていました。

世論調査では、政治への無関心層が増えています。今年から18歳の人たちにも選挙権が与えられます。政治というよりは、もっともっと地元に興味を持っていたら、若い世代に「地元愛」を育んでいかなければなりません。そのためにも議員26名、職員約970名だけでなく、丸亀市の皆さんと共に考え、学び、行動できるよう、これまで以上に皆さんのお力添えをよろしく願っています！

広報広聴委員 神田泰孝